

平成29年8月8日
調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会
(平成29年度 第1回)

資料1 - 1

調査・設計等業務に関する 入札・契約の実施状況 (平成28年度年次報告・速報版)

国土技術政策総合研究所

平成17年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行されて以降、国土交通省の調査・設計等業務では、平成20年度に総合評価落札方式を本格導入することなどにより、実施状況をモニタリングしつつ品質確保を図ってきた。

国土技術政策総合研究所は、地方整備局等が発注する調査・設計等業務の入札・契約状況を毎年度の年次報告としてとりまとめ、公表している。

- 総合評価落札方式の導入以降、同方式による件数の割合は経年的に増加し、平成28年度には過去最大となった(契約件数の53.3%)。同方式による当初契約額の割合は過去最大であった前年度と同水準となった(当初契約額の65.2%)。【P1-1, 1-3】
- 総合評価落札方式の配点比率1:1の件数の割合は増加傾向にあり、平成28年度には同方式の63.9%を占めた。【P1-5】
- 土木関係建設コンサルタント業務の平成28年度の当初契約額は、プロポーザル方式が661億円、総合評価落札方式が1,044億円、価格競争方式が84億円となり、前年度と比較してプロポーザルは27億円、総合評価は98億円増加し、価格競争は21億円減少した。【P1-4】
- 業務成績評定点の発注方式別の平均は、プロポーザル方式(78.2点)、総合評価落札方式(77.4点)、価格競争方式(76.7点)となった(平成28年度)。総合評価落札方式の配点比率別では、1:1(77.4点)、1:2(77.6点)、1:3(77.5点)となった。【P2-1】

目 次

1. 調査・設計等分野の契約状況	
(1) 発注方式別契約件数の推移(全業種計、土木／測量／地質)	P1-1
(2) 発注方式別当初契約額の推移(全業種計、土木／測量／地質)	P1-3
(3) 「総合評価落札方式」配点比率別契約件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)	P1-5
(4) 発注方式別・予定価格帯別契約件数(全業種計／土木／測量／地質)(平成28年度)	P1-6
(5) 平均業務規模の推移(全業種計／土木／測量／地質)	P1-7
(6) 四半期別契約件数の割合の推移(全業種計／予定価格2,000万円超の業務)	P1-8
(7) 低入落札発生状況(総合評価・価格競争別 経年変化)[予定価格1,000万円超]	P1-9
2. 業務成績の関係(平成28年度)	
(1) 発注方式・配点比率と業務成績評定点の関係(全業種計)	P2-1
(2) 低入落札の業務成績評定点(全業種計／土木／測量／地質)	P2-2
3. 業務の履行期限の状況	P3-1

本速報版では、契約状況、業務成績について整理。

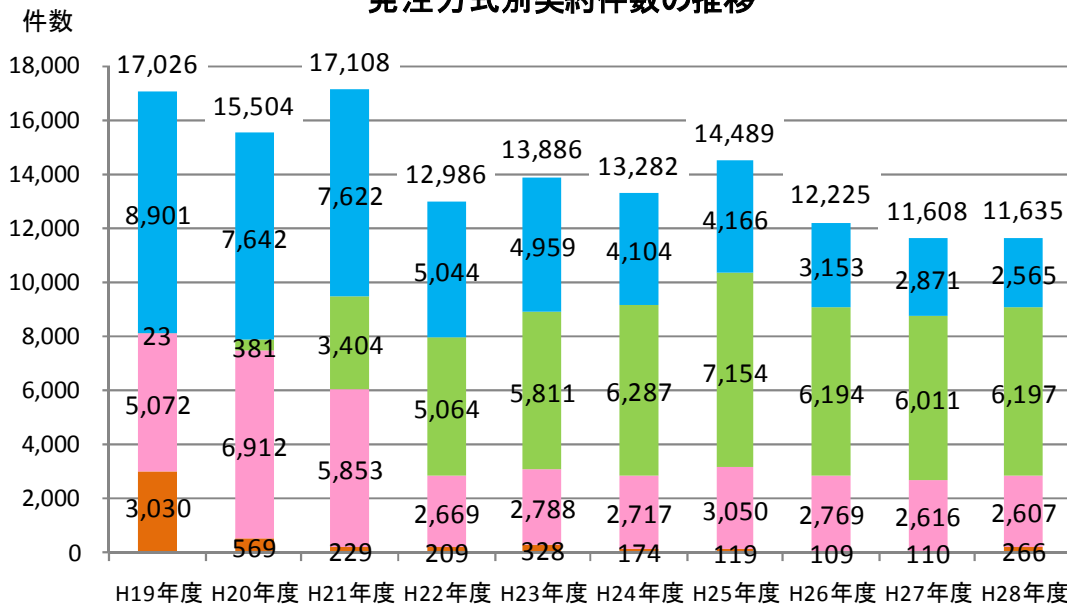
(本資料中の数値は速報値であり、今後の精査により変更することがあります。)

1. 調査・設計等分野の契約状況

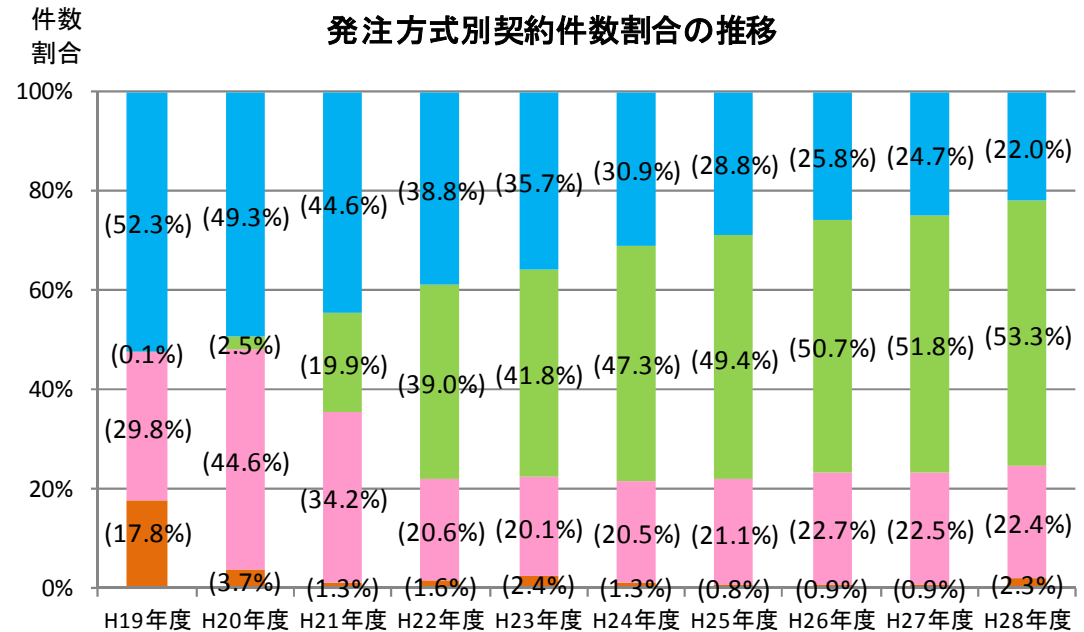
(1) 発注方式別契約件数の推移(全業種計)

- ・平成28年度の契約件数は、**11,635**件で、**前年度**(11,608件)**と同水準**となった。
- ・発注方式別の契約件数の割合を見ると、プロポーザル方式が**22.4%**、総合評価落札方式が**53.3%**、価格競争方式が**22.0%**となり、**総合評価は増加傾向**にある一方で、**価格競争は減少傾向**にある。
- ・平成28年度は、災害対応(熊本地震、北海道・東北豪雨 等)により、特命随意契約の件数が増加した。

発注方式別契約件数の推移



発注方式別契約件数割合の推移



凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争方式

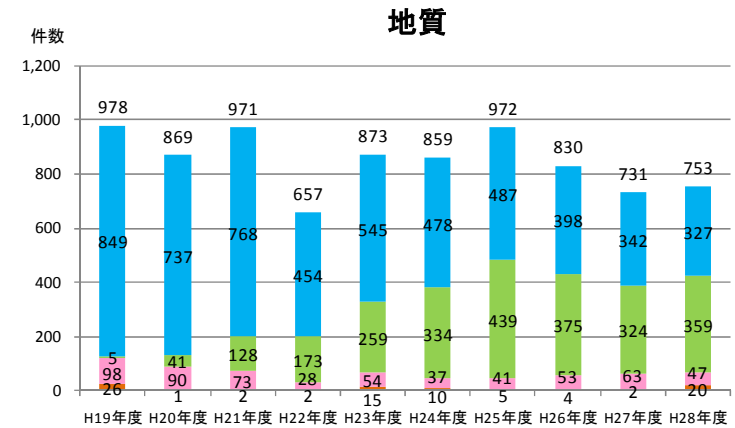
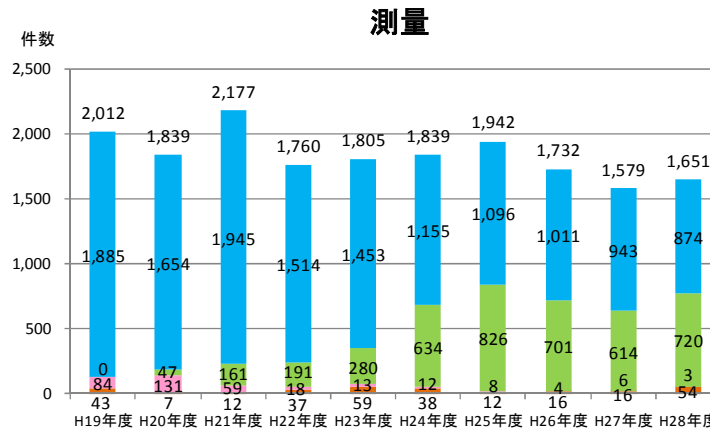
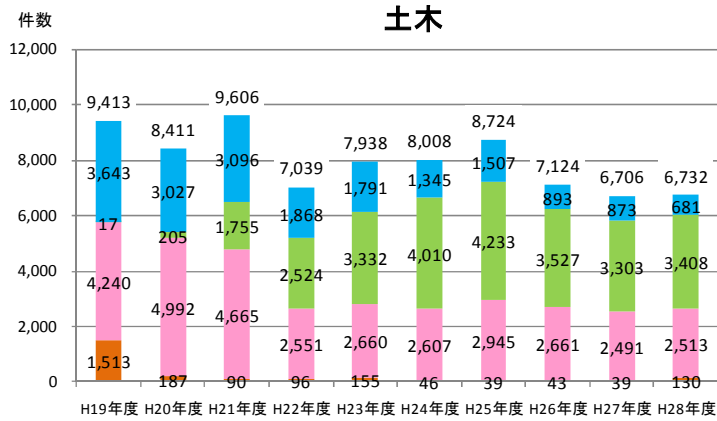
※北海道開発局+8地方整備局の業務を対象(港湾・空港関係を除く)。以下、同様。

1. 調査・設計等分野の契約状況

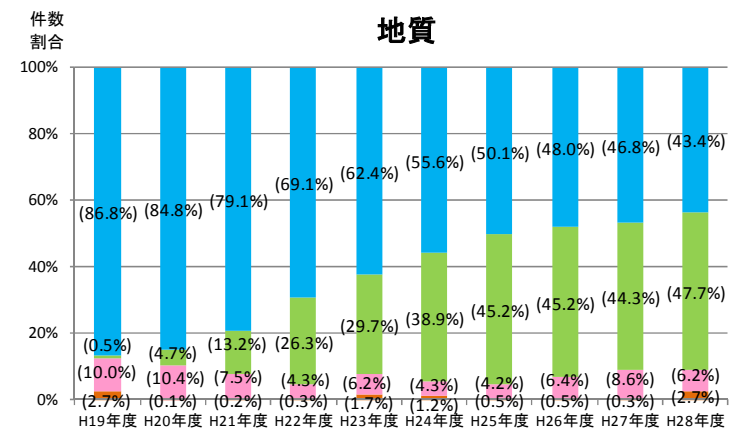
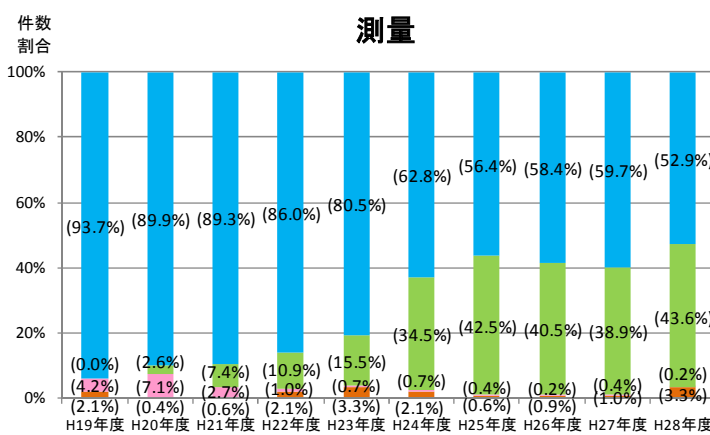
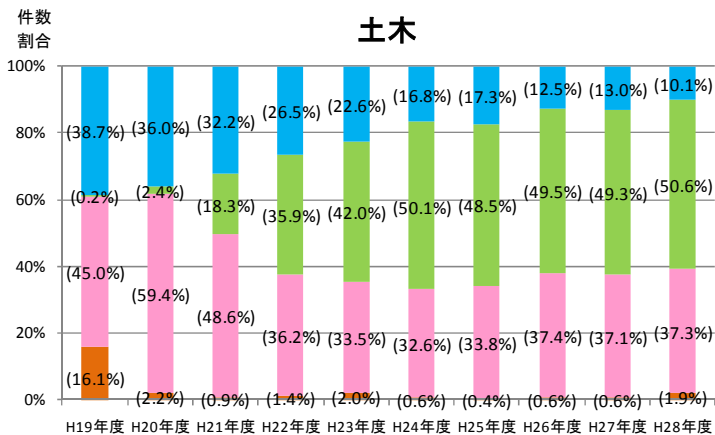
(1) 発注方式別契約件数の推移(土木／測量／地質)

- ・平成28年度の土木関係建設コンサルタント業務(以下、「土木」とする。)の契約件数の割合は、プロポーザル方式が**37.3%**、総合評価落札方式が**50.6%**、価格競争方式が**10.1%**となり、**ここ数年と同程度**となった。
- ・測量及び地質調査業務(以下、「地質」とする。)では、総合評価落札方式は増加傾向で、価格競争方式は減少傾向にある。(平成28年度の契約件数に占める総合評価落札方式の割合は、測量で**43.6%**、地質で**47.7%**)。

発注方式別契約件数の推移



発注方式別契約件数割合の推移



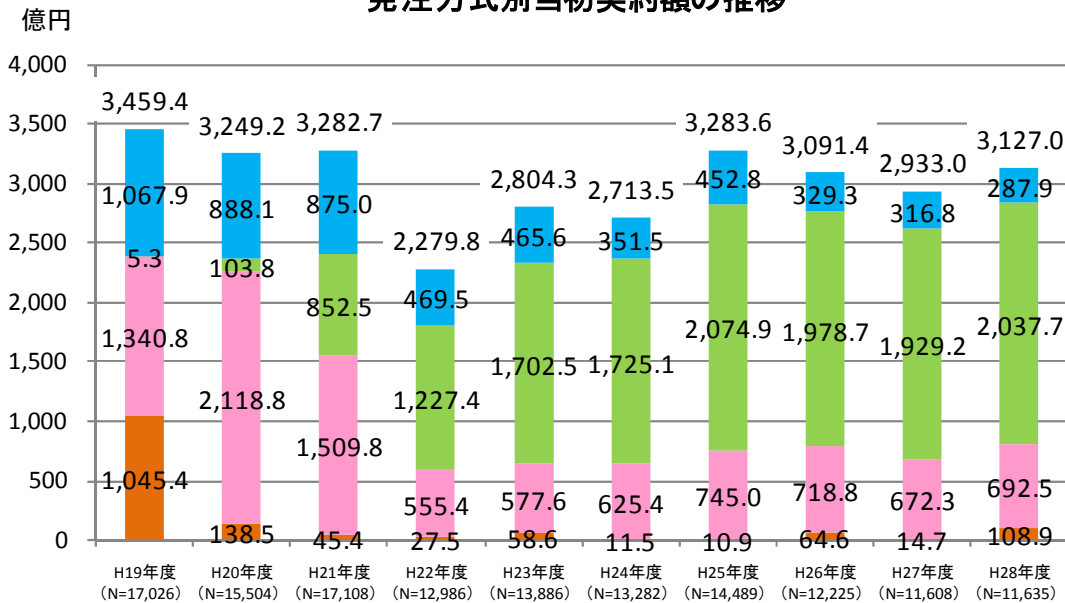
凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争方式

1. 調査・設計等分野の契約状況

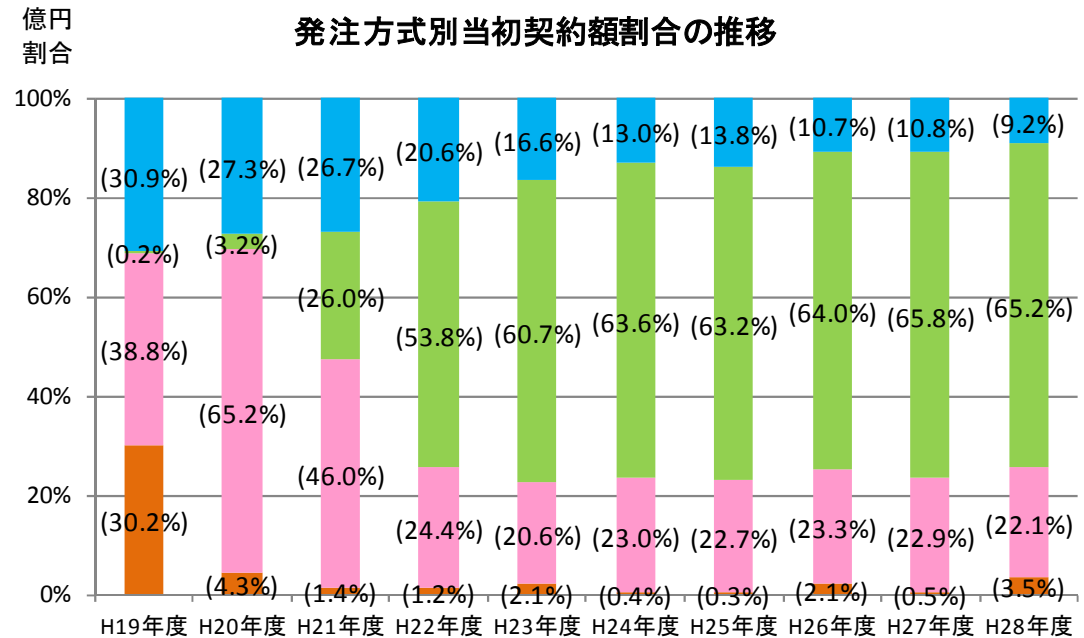
(2) 発注方式別当初契約額の推移(全業種計)

- ・平成28年度当初契約額は**3,127億円**であり、前年度(2,933億円)と比べて**6.6%増加**した。
- ・発注方式別の当初契約額の割合をみると、プロポーザル方式が**22.1%**、総合評価落札方式が**65.2%**、価格競争方式が**9.2%**となり、総合評価は過去最大であった**前年度と同水準**となった。
- ・平成28年度は、災害対応(熊本地震、北海道・東北豪雨 等)により、特命随意契約の当初契約額が増加した。

発注方式別当初契約額の推移



発注方式別当初契約額割合の推移



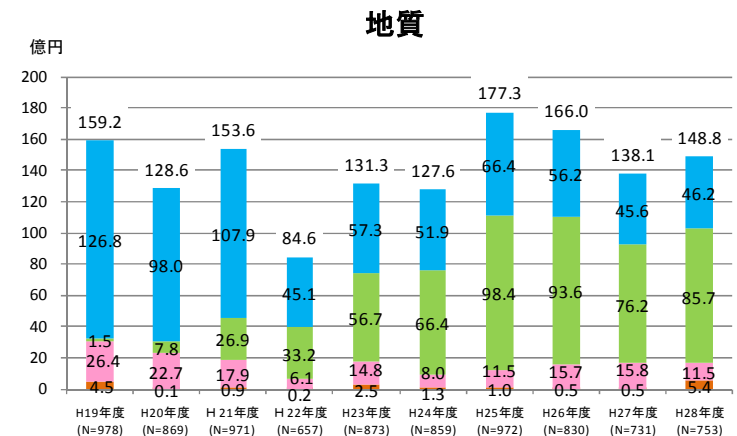
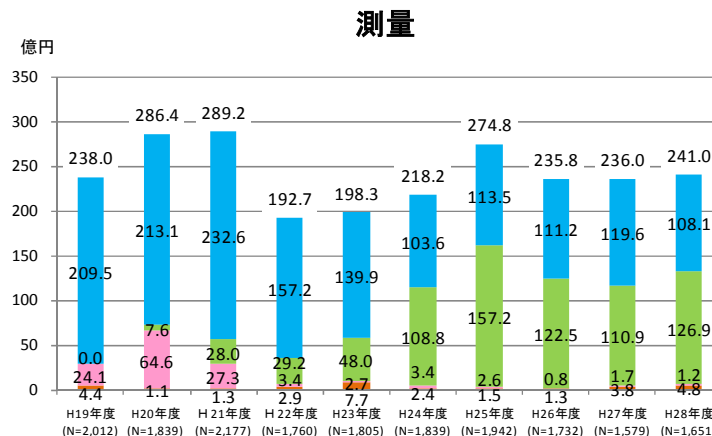
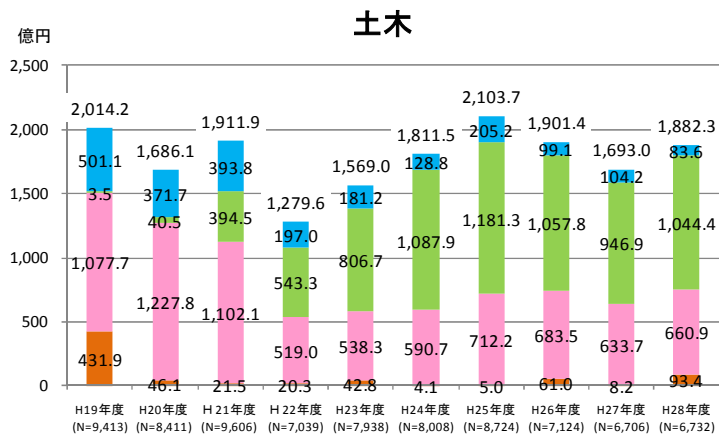
凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争方式

1. 調査・設計等分野の契約状況

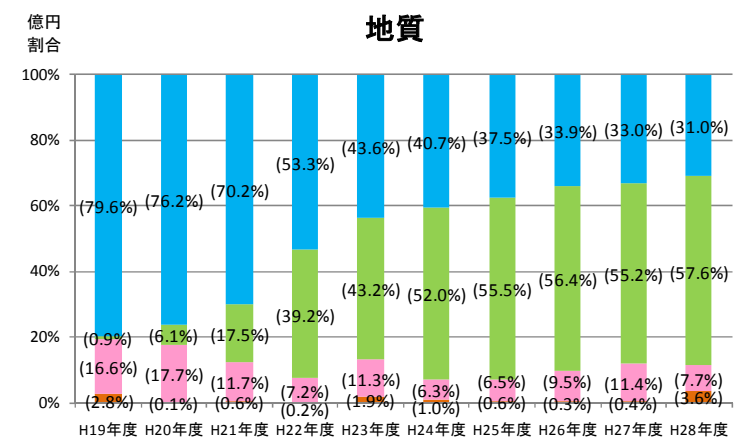
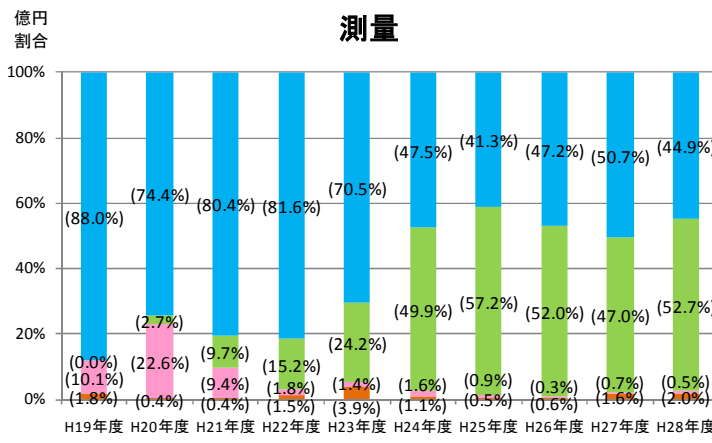
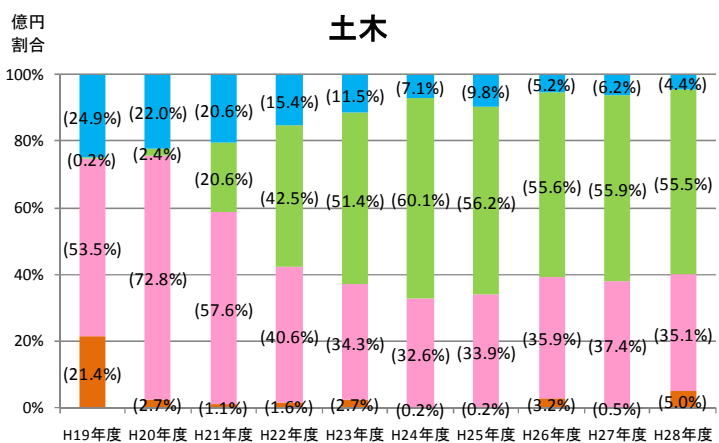
(2) 発注方式別当初契約額の推移(土木／測量／地質)

- ・平成28年度の土木の当初契約額は、プロポーザル方式が661億円、総合評価落札方式が1,044億円、価格競争方式が84億円となり、前年度と比較してプロポーザルは27億円増加、総合評価は98億円増加し、価格競争は21億円減少した。
- ・測量と地質においても、総合評価の当初契約額は増加した。
(平成28年度の総合評価の当初契約額は測量で127億円、地質で86億円)。

発注方式別当初契約額の推移



発注方式別当初契約額割合の推移



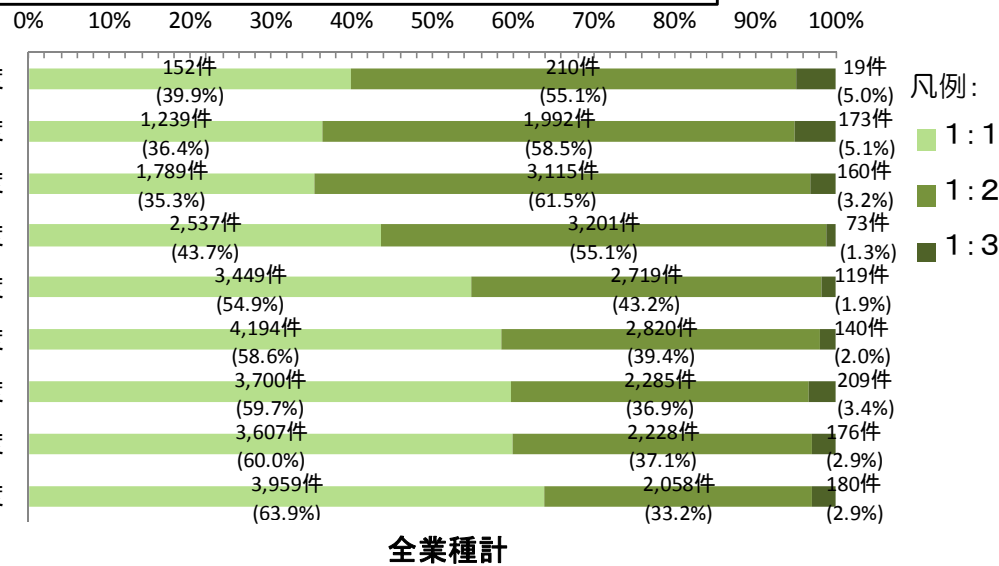
凡例: ■ 特命随意契約 ■ プロポーザル方式 ■ 総合評価落札方式 ■ 価格競争方式

1. 調査・設計等分野の契約状況

(3) 「総合評価落札方式」配点比率別契約件数の推移(全業種計／土木／測量／地質)

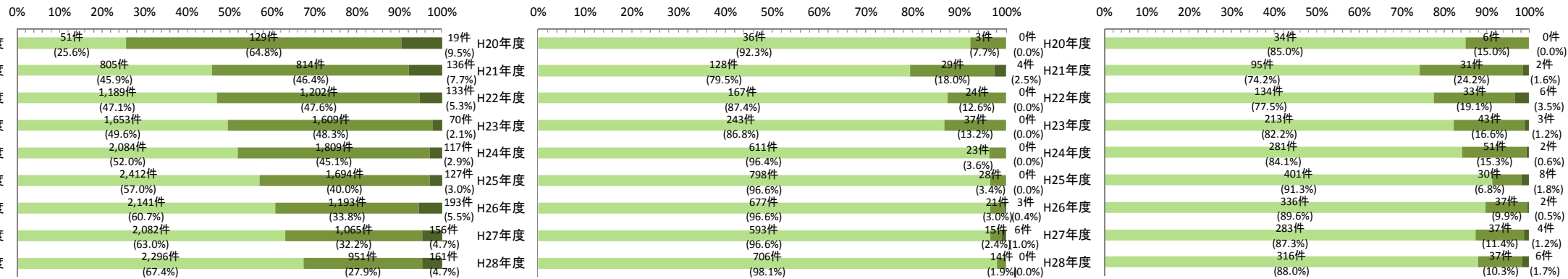
・総合評価落札方式の配点比率1:1の件数の割合は増加傾向。平成28年度は1:1が**63.9%**、1:2が**33.2%**、1:3が**2.9%**となった。

総合評価落札方式 配点比率別契約件数の推移



	比率	技術提案
標準型	1:3	実施方針＋評価テーマ(2つ以上)
	1:2	実施方針＋評価テーマ(1つ)
簡易型	1:1	実施方針のみ

全業種計



土木

測量

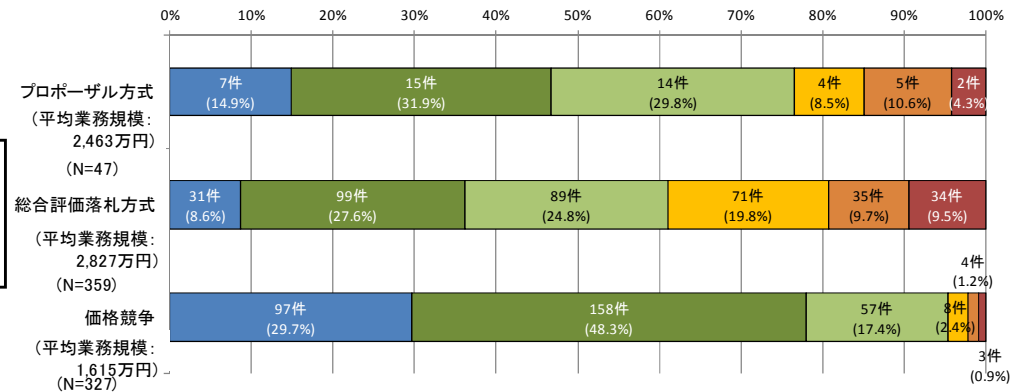
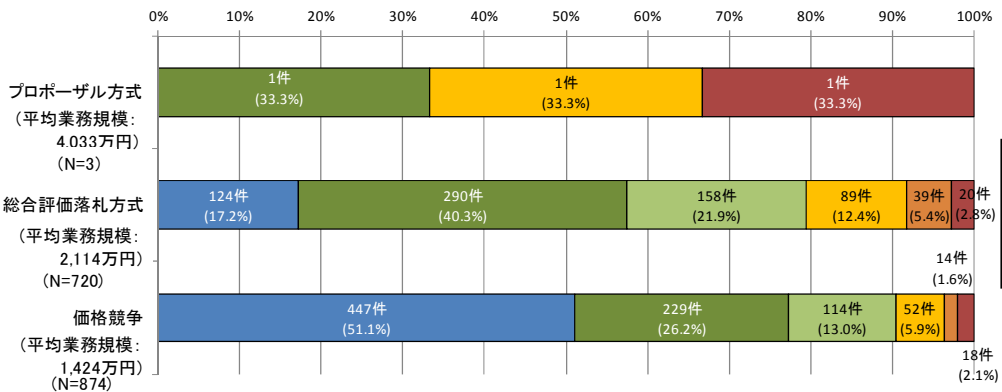
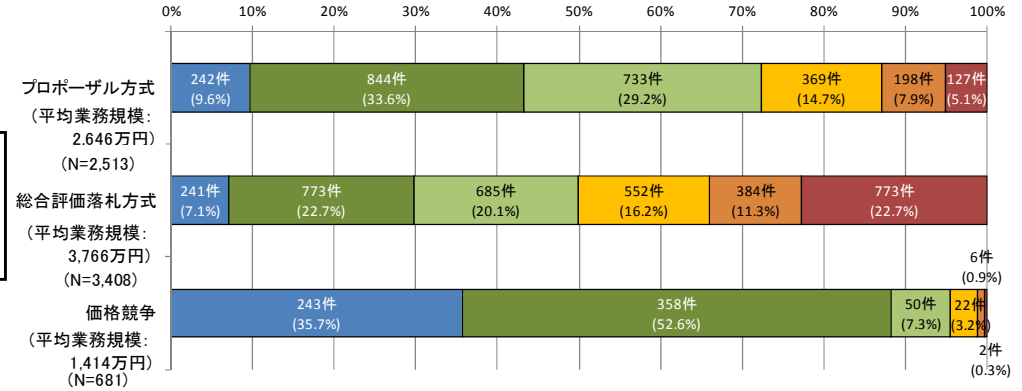
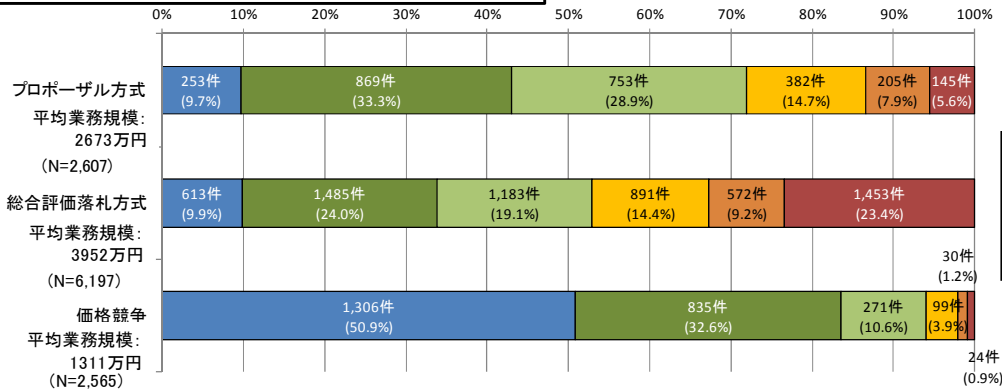
地質

1. 調査・設計等分野の契約状況

(4)発注方式別・予定価格帯別契約件数(全業種計／土木／測量／地質)(平成28年度)

- ・平均業務規模(予定価格)は、総合評価落札方式(3,952万円)、プロポーザル方式(2,673万円)、価格競争方式(1,311万円)の順となった。
- ・プロポーザル方式では、1,000～3,000万円の業務が62.2%を占めた。
- ・総合評価落札方式は、他の方式との比較では一部の予定価格帯に偏らず、4,000万円超の業務は32.6%を占めた。
- ・価格競争方式では、1,000万円以下が50.9%となり、比較的規模の小さな業務が過半を占めた。

発注方式別・予定価格帯別契約件数

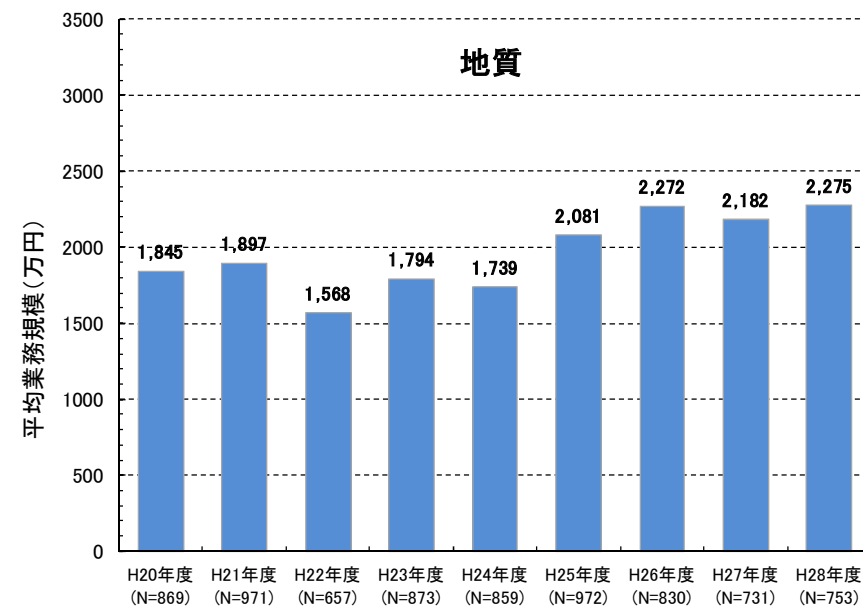
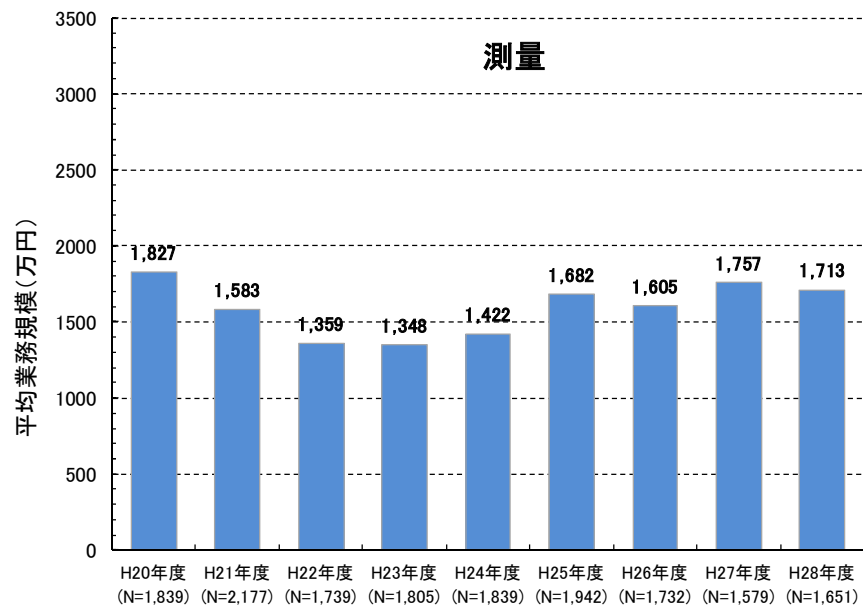
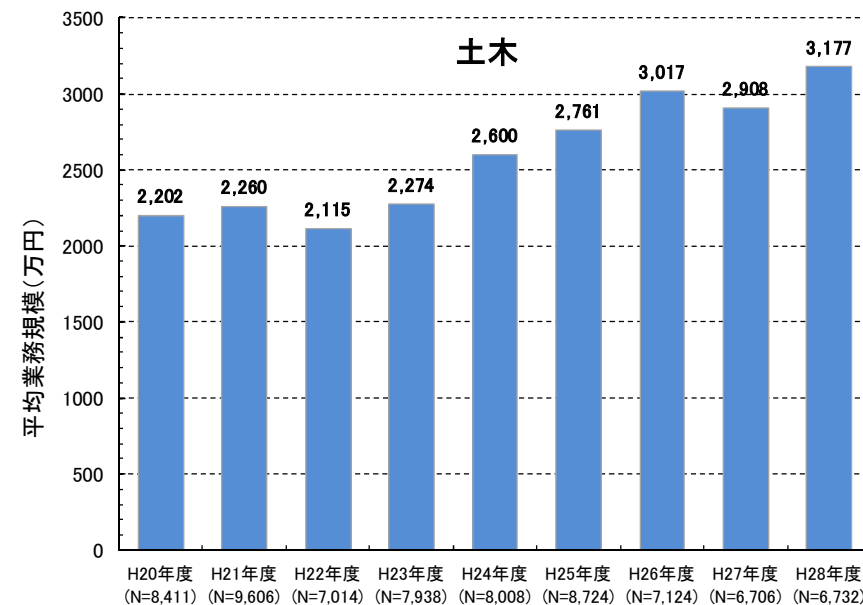
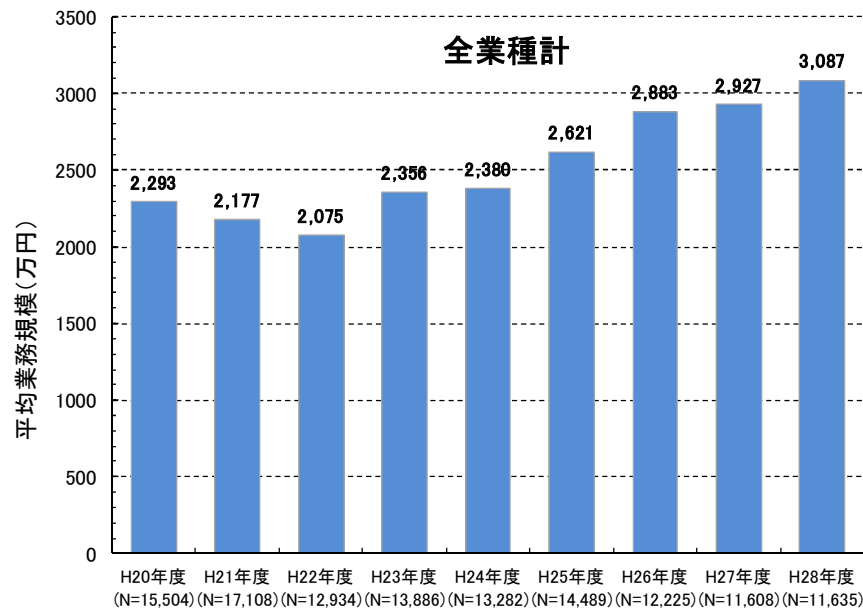


凡例: ■ 1,000万円以下 ■ 1000万円超～2000万円以下 ■ 2,000万円超～3,000万円以下
 ■ 3,000万円超～4,000万円以下 ■ 4,000万円超～5,000万円以下 ■ 5,000万円超

1. 調査・設計等分野の契約状況

(5) 平均業務規模の推移(全業種計／土木／測量／地質)

・平均業務規模は、経年的に増加傾向にある。



1. 調査・設計等分野の契約状況

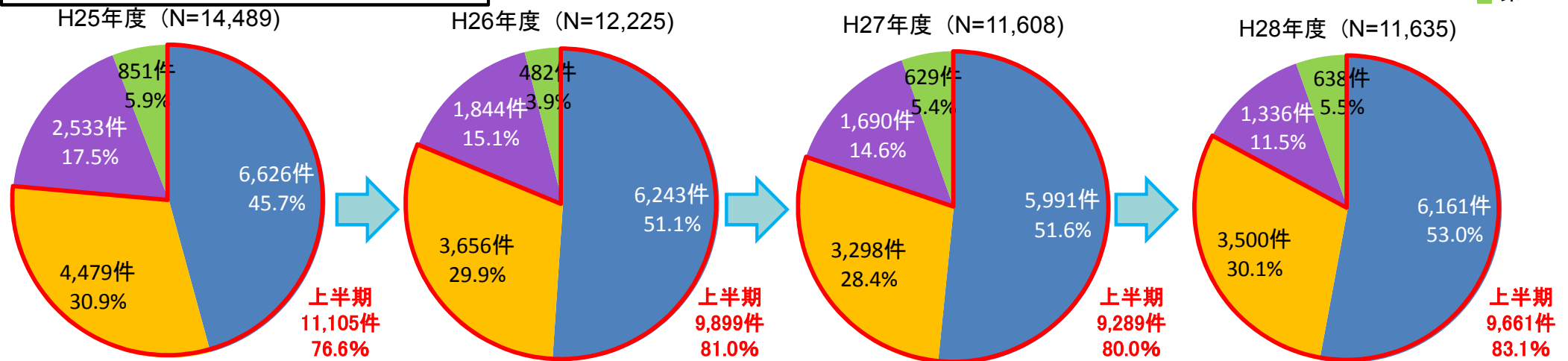
(6) 四半期別契約件数の割合の推移(全業種計 / 予定価格2,000万円超の業務)

- ・上半期(第1四半期と第2四半期)の契約件数の割合は増加傾向にあり、平成28年度は全件数の83.1%を占めた。
- ・比較的規模の大きい業務(予定価格2,000万円超の業務)の平成28年度の上半期(第1四半期と第2四半期)の契約件数の割合は、全件数の87.5%を占めた。

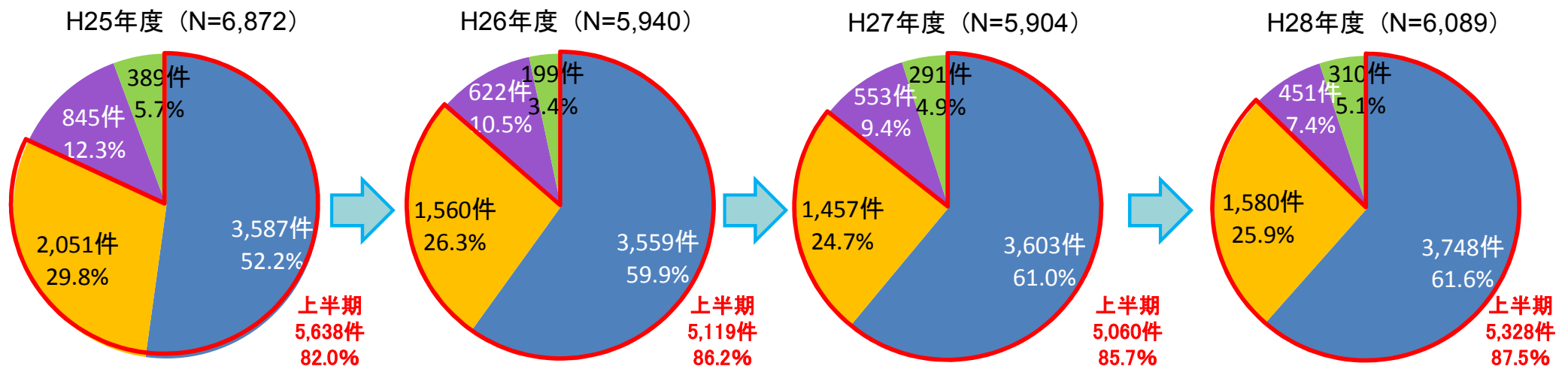
凡例:

- 第1四半期
- 第2四半期
- 第3四半期
- 第4四半期

四半期別契約件数割合の推移(全業種)



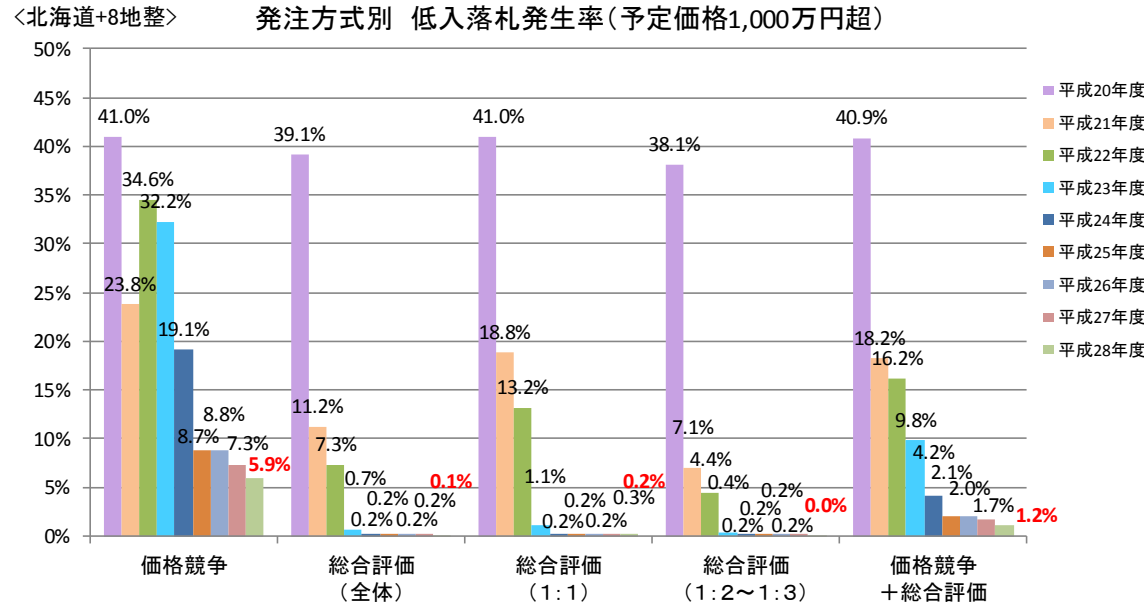
四半期別契約件数割合の推移(全業種: 予定価格2,000万円超)



1. 調査・設計等分野の契約状況

(7) 低入落札発生状況(全業種計)(総合評価・価格競争別 経年変化)[予定価格1,000万円超]

- ・総合評価落札方式での低入落札の発生は経年的に減少(平成28年度の低入落札発生率は0.1%)。履行確実性評価の導入拡大等が背景にあると考えられる。
- ・価格競争方式における低入落札発生率は低下傾向。平成28年度は前年度より1.4ポイント減少した。



1000万円超		価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)	価格競争+総合評価
平成20年度	対象業務件数	3,995	307	105	202	4,302
	低入落札件数	1,638	120	43	77	1,758
平成21年度	対象業務件数	3,721	2,930	1,019	1,911	6,651
	低入落札件数	884	327	192	135	1,211
平成22年度	対象業務件数	2,046	4,261	1,425	2,836	6,307
	低入落札件数	707	312	188	124	1,019
平成23年度	対象業務件数	2,061	5,051	2,089	2,962	7,112
	低入落札件数	664	36	23	13	700
平成24年度	対象業務件数	1,459	5,514	2,917	2,597	6,973
	低入落札件数	279	11	7	4	290
平成25年度	対象業務件数	1,854	6,418	3,653	2,765	8,272
	低入落札件数	162	11	6	5	173
平成26年度	対象業務件数	1,414	5,534	3,167	2,367	6,948
	低入落札件数	125	12	7	5	137
平成27年度	対象業務件数	1,390	5,433	3,154	2,279	6,823
	低入落札件数	101	12	8	4	113
平成28年度	対象業務件数	1,259	5,584	3,448	2,136	6,843
	低入落札件数	74	8	7	1	82

※予定価格1,000万円超の業務のうち、調査基準価格が設定されている業務を対象とし、調査基準価格を下回る業務を低入落札とした。

1. 調査・設計等分野の契約状況

(7) 低入落札発生状況(土木／測量／地質)(総合評価・価格競争別 経年変化)[予定価格1,000万円超]

・総合評価落札方式での低入落札は土木で1件となった(平成28年度)。価格競争方式では、前年度と比較して発生率が土木、測量、地質で減少した。

低入落札発生率

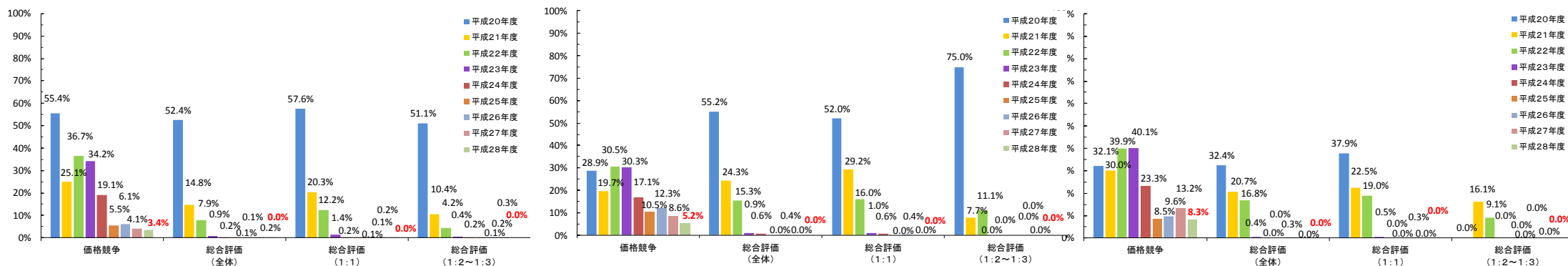
土木

低入落札発生率

測量

低入落札発生率

地質



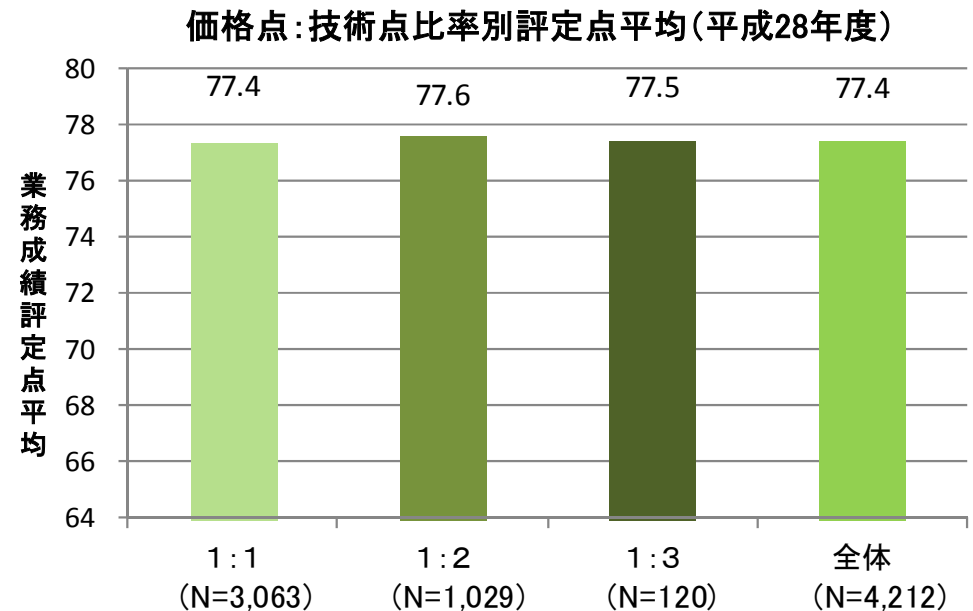
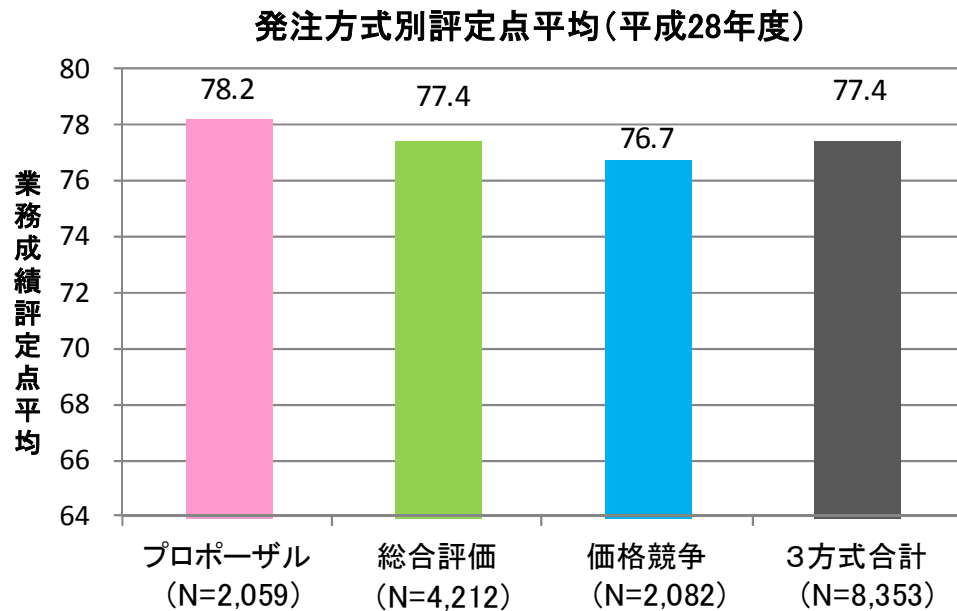
1,000万円超		土木				測量				地質			
		価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)	価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)	価格競争	総合評価(全体)	総合評価(1:1)	総合評価(1:2~1:3)
平成20年度	対象業務件数	1,950	164	33	131	838	29	25	4	480	34	29	5
	低入落札件数	1,080	86	19	67	242	16	13	3	154	11	11	0
平成21年度	対象業務件数	1,933	1,554	691	863	854	115	89	26	470	111	80	31
	低入落札件数	486	230	140	90	168	28	26	2	141	23	18	5
平成22年度	対象業務件数	976	2,163	981	1,182	646	137	119	18	218	149	116	33
	低入落札件数	358	170	120	50	197	21	19	2	87	25	22	3
平成23年度	対象業務件数	919	2,895	1,395	1,500	590	227	195	32	274	232	190	42
	低入落札件数	314	25	19	6	179	2	2	0	110	1	1	0
平成24年度	対象業務件数	613	3,626	1,834	1,792	387	508	488	20	245	285	238	47
	低入落札件数	117	6	3	3	66	3	3	0	57	0	0	0
平成25年度	対象業務件数	909	3,917	2,193	1,724	427	662	636	26	316	398	362	36
	低入落札件数	50	4	3	1	45	0	0	0	27	0	0	0
平成26年度	対象業務件数	527	3,258	1,937	1,321	447	566	543	23	270	349	311	38
	低入落札件数	32	3	1	2	55	2	2	0	26	1	1	0
平成27年度	対象業務件数	543	3,099	1,925	1,174	479	508	488	20	219	294	257	37
	低入落札件数	22	6	3	3	41	0	0	0	29	0	0	0
平成28年度	対象業務件数	438	3,167	2,090	1,077	427	596	583	13	230	328	288	40
	低入落札件数	15	1	1	0	22	0	0	0	19	0	0	0

※ 予定価格1,000万円超の業務のうち、調査基準価格が設定されている業務を対象とし、調査基準価格を下回る業務を低入落札とした。

2. 業務成績の関係(平成28年度)

(1) 発注方式・配点比率と業務成績評定点の関係(全業種計)

- ・業務成績評定点の発注方式別の平均は、プロポーザル方式(78.2点)が最も高く、以下、総合評価落札方式(77.4点)、価格競争方式(76.7点)の順となった。価格競争との比較では、+1.5点(プロポーザル)、+0.7点(総合評価)となった。
- ・総合評価落札方式の配点比率別では、1:1(77.4点)、1:2(77.6点)、1:3(77.5点)となった。



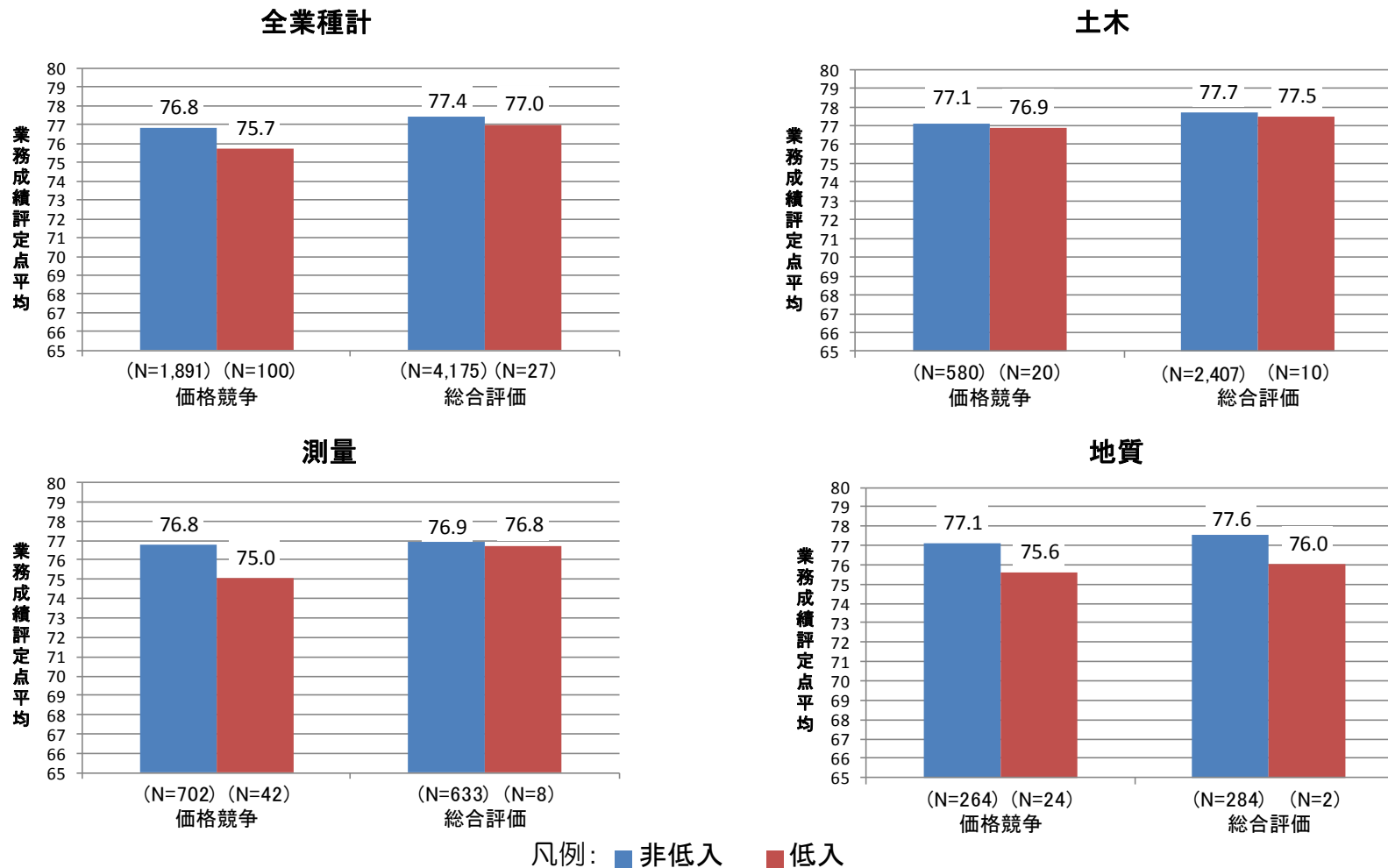
※分析対象は、全業種(土木、測量、地質、建築、補償、発注者支援)で、業務成績評定点のある業務。

2. 業務成績の関係(平成28年度)

(2) 低入落札の業務成績評定点(全業種計/土木/測量/地質)

・全ての業種で、低入落札の業務成績評定点は低くなった。

業種別低入落札・低入落札でない業務別の業務成績評定点平均(総合評価・価格競争)



※調査基準価格または品質確保基準価格が設定されている業務を対象とし、これらの基準価格を下回る業務を低入落札とした。
 ※分析対象は、全業種(土木、測量、地質、建築、補償、発注者支援)で、業務成績評定点のある業務。

3. 業務の履行期限の状況

- ・3月に履行期限を迎える業務件数の比率は、繰越制度の活用等により着実に減少している。
- ・特に測量業務が大幅に減少している。

対象

- ・全ての業務(測量・地質調査・土木関係建設コンサルタント業務)を対象とする。
- ・ただし、発注者支援業務等および環境調査など1年間を通じて実施する業務については、対象外とする。

履行期限の状況

	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
4月～12月	14.3%	15.4%	10.2%	8.6%	8.3%	9.0%
1月～2月	21.7%	20.2%	20.4%	18.4%	21.4%	25.3%
3月	63.9%	64.4%	66.8%	63.3%	59.3%	53.8%
繰り越し	—	—	2.6%	9.8%	10.9%	11.8%

